

平成 29 年度 第 17 回 東京学生柔道オープン大会 大会要項(案)

03 月 22 日現在

- 1、大会名 平成 29 年度 第 17 回 東京学生柔道オープン大会
2、主催 東京学生柔道連盟
3、後援 毎日新聞社、(公財)講道館、(公財)東京都柔道連盟、(一社)全日本学生柔道連盟
4、日時 平成 29 年 11 月 19 日(日)
開会式：午後 1 時 00 分 試合開始：午後 1 時 30 分
5、会場 講道館大道場 東京都文京区春日 1-16-30
6、参加資格 東京都内に所在する大学学部(大学院生は除く)の正規の学籍を有する学生であり、

(公財)全日本柔道連盟の競技者登録をした者。

但し、下記に該当する学生は出場出来ない。

- 《男子》イ、平成 29 年度東京学生柔道優勝大会ベスト 16 校で選手登録した学生。
(該当校で選手登録されていない学生が出場する場合は無段および初段取得後 1 年未満の者のみ出場可とする)
ロ、平成 29 年度の東京学生柔道体重別選手権大会に出場した学生。
《女子》 平成 29 年度の東京学生柔道体重別選手権大会に出場した学生。

7、参加申込 (1)申込先

〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園 2-3 日本武道館内
東京学生柔道連盟 TEL 03-3213-7106 FAX 03-3287-3282

(2)申込期間

平成 29 年 10 月 31 日(火)、11 月 1 日(水) 両日とも午後 4 時 00 分～午後 7 時 00 分

※必ず所定の申込書類に記入のうえ持参する。

※郵便、電話、FAX 等による申し込みは受け付けない。

(3)申込書類

所定の参加申込用紙、在学証明書、健康診断書(発行後 3 ヶ月以内)
大会参加費振込の確認ができるもの(振込控、振り込みに用いた通帳など)

(4)申込区分

イ、試合は個人戦のみとし、次の申込区分とする。

男子：無段者(無差別)、66 kg 級、81 kg 級、81 kg 超級

※但し、無段者の体重差が大きい場合は 2 階級に分ける場合もある。

女子：無段者(無差別)、52 kg 級、63 kg 級、63 kg 超級

各階級各校 2 名までの出場を認める。

ロ、参加総数

男子 120 名、女子 50 名とする。

定員に達した時点で申込受付を締め切る。

(5)参加費

参加選手 1 名につき ¥1,000 とし、

その総額を振込期限までに下記の指定銀行に振り込む。

なお、参加費は振り込みのみ受け付けるものとし、それ以外は一切受け付けない。

参加費の振込期限は平成 29 年 10 月 30 日(月)正午とし振り込みが確認できない場合は本大会の参加は認めない。

《振込先》

みずほ銀行東京中央支店 (普通)6795245

東京学生柔道連盟 会長 白瀬 英春(しらせ ひではる)

(6)ゼッケン、柔道衣

指定のゼッケンは定めないが、所属大学名以外の名前が入っているものは不可とする。

また、柔道衣も所属大学名以外の名前が入っているものは不可とする。

8、選手受付 出場するチームごとで、11時30分～12時00分までの間に講道館新館4階にて受付を行う。

※大会前日に代表者会議を行わないため、諸注意などについては受付の際に説明を行う。

9、選手計量 平成29年11月19日(日)

(計量時間) 予備計量：午前11時30分～午後0時00分

公式計量：午後0時00分～午後0時30分

(計量場所) 男子：講道館4階男子ロッカー室 女子：講道館4階女子ロッカー室

10、審判員会議 平成29年11月19日(日)12時00分 講道館

11、試合方法 各階級トーナメント戦で行う。

※出場者が少ない場合には一部リーグ戦方式を採用する。

12、審判規定 イ、国際柔道連盟試合審判規定による。

ロ、試合時間は4分とする。なお、ゴールデンスコア方式での試合時間は2分とする。

13、表彰 優勝、準優勝を表彰する。

14、安全対策 イ、主催者は出場する選手に対して傷害保険に加入すると共に指定救急病院の手配を行う。

ロ、試合場に医師を配置し応急処置を施すが、それ以上の責任は負わない。

ハ、大会当日、出場選手は、必ず保険証(コピー不可)を持参する。

ニ、無段の部においては、過去連続して6ヶ月以上柔道の練習を行ってきた者以外は出場出来ない。

15、大会事務局 〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園2-3 日本武道館内

東京学生柔道連盟事務局

TEL 03-3213-7106 FAX 03-3287-3282

E-mail office@tokyojudo.gr.jp

※参加申込、本大会に関する書類などの提出、並びに質問等は

全て上記の大会事務局に対して行う。

16、その他 《皮膚真菌症について》

皮膚真菌症(トングランス感染症)については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認する。感染が疑わしい、もしくは感染が認められた選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行う。もし、選手に皮膚真菌症の感染が認められた場合は、大会への出場を禁止する。(ただし、2週間以内の治療証明書がある場合は、出場を認める)

《個人情報取り扱いについて》

- ・書類での申込に記載された個人情報、大会中に撮影された写真、または動画が、大会プログラム、大会ホームページに掲載される場合があります。また、その他の報道機関等により、新聞、雑誌、テレビおよび関連ホームページ等に公開される場合があります。
- ・提出された個人情報については、上記の利用目的以外に使用することはありません。
- ・書類での申込により、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応をさせていただきます。